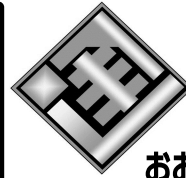


みなぎる

おおさか誠二選対ニュース



2014年12月3日

第2号

発行責任者:高橋とおる

おおさか誠二選挙事務所

〒040-0001 函館市五稜郭町4-16
TEL:0138(31)1151 / FAX:0138(31)1161

流れを変えよう!風を起こそう!

12・2街頭大集会に寒空の中400人

おおさは本町交差点の歩道を埋め尽くす勢いで集まった聴衆に「今日も多くの皆さんから声援をいただいた。

2年前の厳しい選挙とは大違いの状況。どうしてこんなにも違うのか。それはこの2年間の政治が間違っていたと多くの方が気が付いたからではないか。

この交差点ですべて訴えさせていたでいるが、耳を傾けてくれる方が、応援してくれる方が増えてきた。

この背景の一つには、たとえば、大間原発反対の声が非常に高まっていることがある。

大間は発電所としては全く必要のないもので、しかも今までの原発の燃料より何倍も危険性の高いプルトニウムを使う。一たび事故が起こると福島の前では無い惨事となる。



行使反対! 大間原発建設凍結

また事故がなくても、函館の目と鼻の先にあるだけで、長年かけて培ってきた函館ブランドが脅かされてしまうと、食品加工業者の悲痛な声を聞いた。

医療・福祉の現場からは、避難計画も全く整備できておらず、何かあったら30万人が北へと殺到する

国道5号線を、患者や利用者を守りながらどう逃げたらいいんだ、との訴えも自分のもとへ届いている。さらに津軽海峡は国際海峡で非常に狭いため、大間原発はテロに対して非常に脆弱で格好の標的となる核施設である。



この選挙で与党の候補者が、実は私は大間に反対なんだと急に言い出している。

では、大間反対の集会へ行ったのか、デモ行進をしたのか、現地へ足を運んだのか。

そのようなことは全くない。何もしていない。



この選挙で勝利することで、函館の道南の市民の意思をはっきりと示していこう。」と訴え共感の輪がさらに広がりました。

また、悪天候の中、おおさかの応援に東京から文字通り飛んできた民主党の福山政調会長は、「大間を止められるのは、首相に意見もできない与党の一年生議員ではなく、野党の実力者・おおさか誠二しかない。」「今回の解散総選挙は首相が自らの失策を隠すためのもの。内閣改造直後に女性2閣僚の辞任が相次ぎ、さらに不祥事が噴出して辞任ドミノが起こるのを恐れてのこと。国民の税金を630億円以上も無駄にしている。

しかし、ひとつだけいいことがある。おおさかさんの国政復帰が早まったことだ。」と力強く演説し、聴衆が大きな拍手を送りました。

12/3

6 早朝
時半
〜



函館ドック出勤時におじゃま